

## Ⅱ アンケート調査

### 1 アンケート調査の目的

総合計画の策定にあたって、加東市の現状やまちづくりの基本理念、政策・施策などに対する市民の意識やニーズを把握するためにアンケートを実施した。

調査の内容については、行政サービスに対する満足度や重点施策に対する意向など、合併時に行った「新都市建設計画」のアンケート結果を踏まえたうえで、その後の社会情勢の変化に伴う、より具体的な市民の意向把握と新たな調査課題に対する具体的な追加把握を行った。

### 2 中学生アンケートの概要

#### (1) 調査対象

加東市内の4つの中学校に通う中学2年生の生徒 443 人とした。

表1 学校別対象者数

社中学校	滝野中学校	東条中学校	兵庫教育大 附属中学校	合計
178	123	60	82	443

#### (2) 回収結果

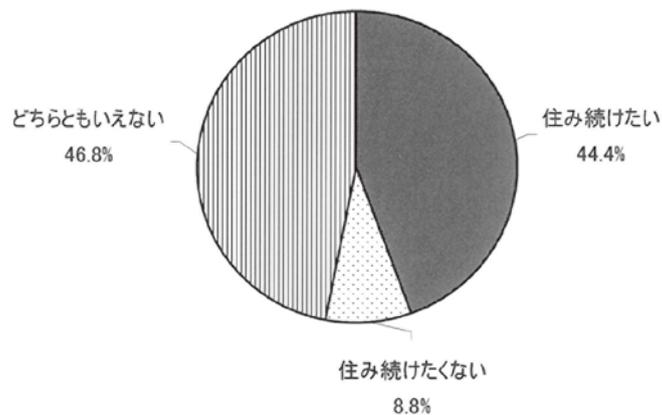
表2 アンケートの回収状況

	実績値	備考
①対象者数	443	有効配布数
②回収数	421	
③有効回収数	416	回収した票数から無効票（無回答など）を除いたもの
④回収率	93.9%	有効回収数÷有効配布数

### (3) 調査結果の要旨（主なものを抜粋）

#### ■定住意向・・・「どちらともいえない」が最も多く4割超

○「住み続けたい」が44.4%、「住み続けたくない」と答えた人は8.8%となっており、定住意向は低くはないが、「どちらともいえない」が46.8%で最も多く、今後の社会状況や加東市の生活環境などにより、定住意向が変化する層が多くなっている。



#### ■大切にしたい・残したい風景、史跡、自然

・・・**播磨中央公園や闘竜灘、山や川、森や木**

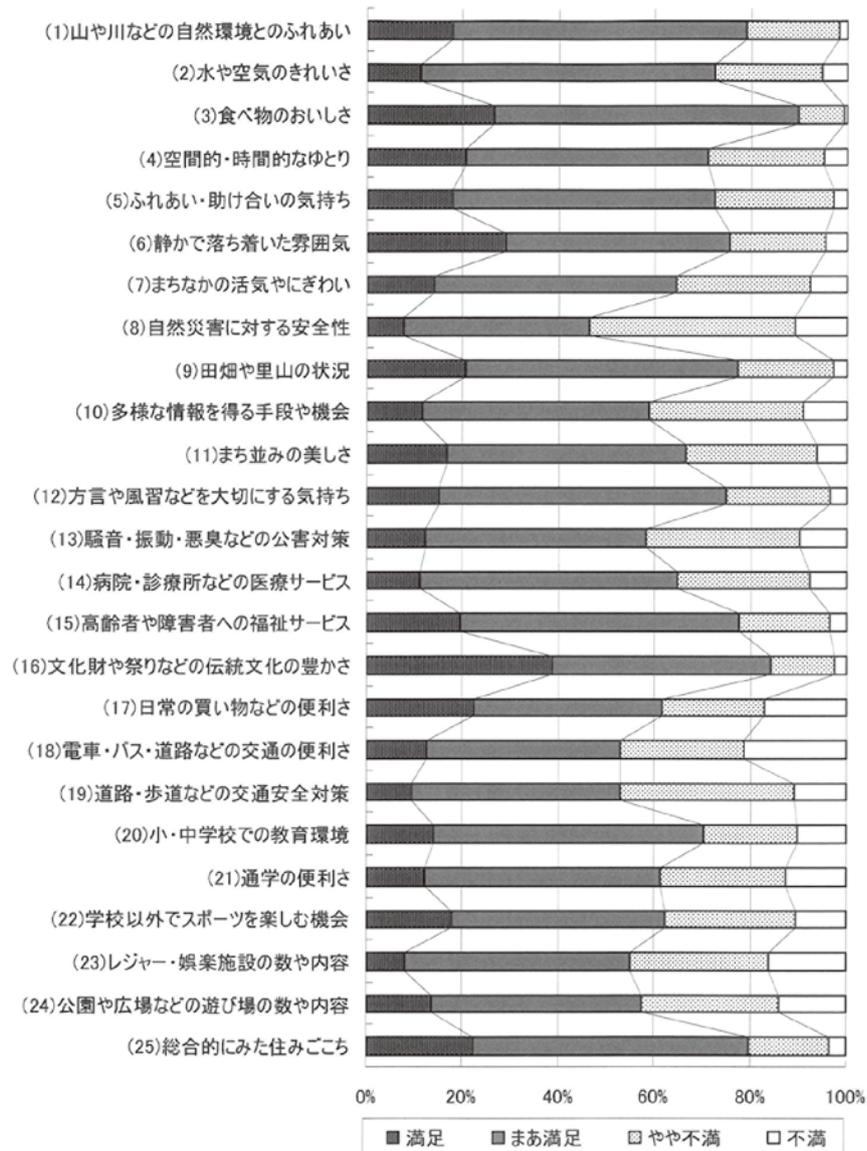
○大切にしたい・残したい風景、史跡、自然については、播磨中央公園や闘竜灘といった加東市の観光名所というべき場所のほかに、「山」「川」「森」「木」「自然」といった固有名詞ではない資源をあげている人が多い。そのほか、地域や地区、学校をあげている人も多く、自分が身近に接してきた自然や環境を大切に思う人が多い。

【多かった順：上位5傑】

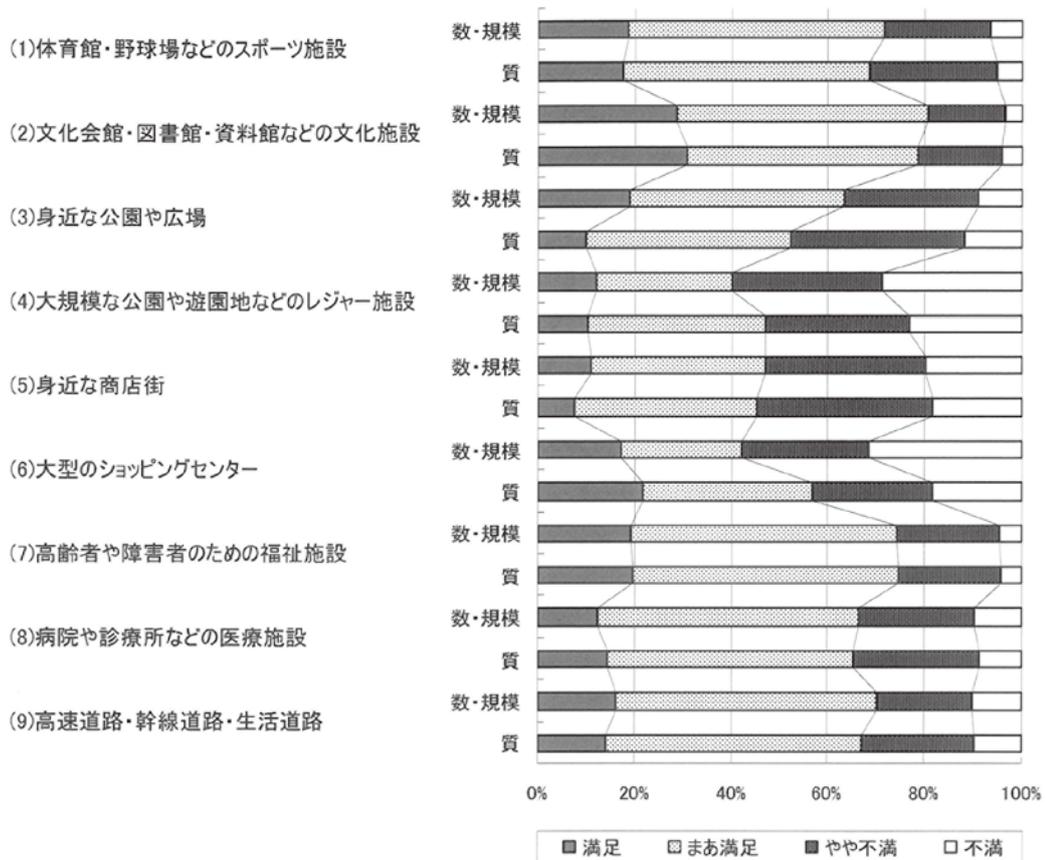
・播磨中央公園	33件
・闘竜灘	26件
・山、川、森、木、自然	24件
・寺社仏閣	15件
・学校	13件
・ステラパーク	13件

■生活環境、施設の数・規模や質・・・満足度は高い

○身近な生活環境に対する満足度は概ね高く、設問25のうち24が満足+まあ満足が50%を超えている。特に満足度が高いのは、「食べ物のおいしさ」「文化財や祭りなどの伝統文化の豊かさ」でいずれも80%を超えている。50%を下回ったのは、「自然災害に対する安全性」で46.3%、不満+やや不満では53.7%となっている。



○施設の数・規模や質についても概ね満足度は高いといえる。特に「文化会館・図書館・資料館などの文化施設」や「高齢者や障害者のための福祉施設」は、満足+まあ満足が70%を超えている。「身近な商店街」「大型のショッピングセンター」「大規模な公園や遊園地などのレジャー施設」については居住地によってやや評価が異なり、全体としての満足度はやや低くなっている。



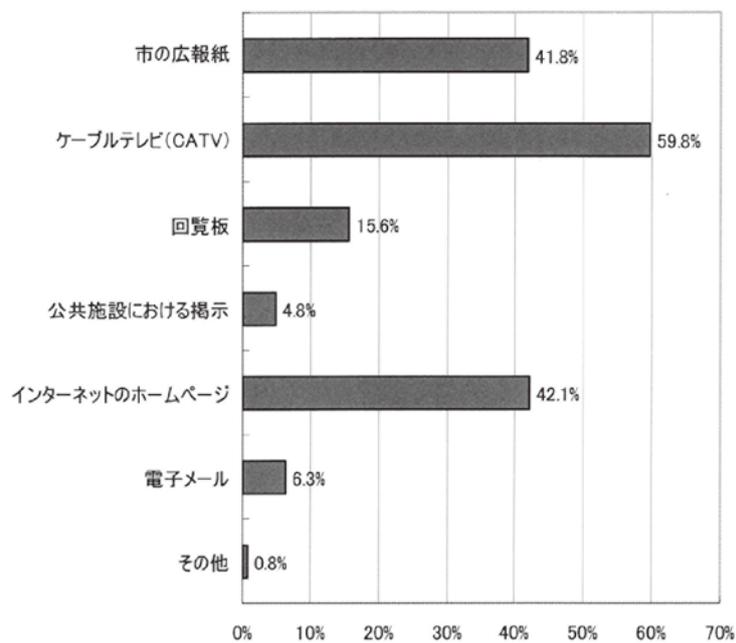
■市の情報源・・・CATV

まちづくりへの参加意識・・・やや薄い

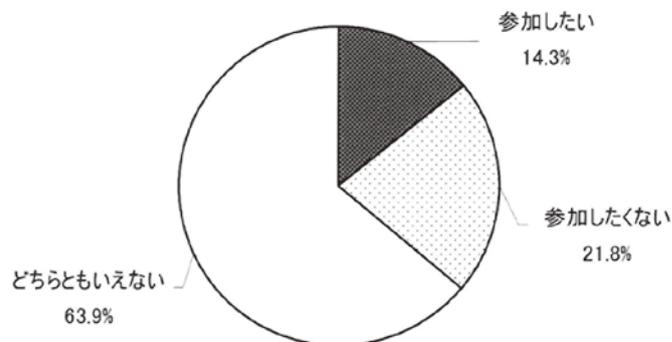
○情報収集についてはケーブルテレビを望む人が多く、加東市における情報提供の重要な手段として定着していることがうかがえる。

○まちづくりへの参加の意向については、「どちらともいえない」が6割を超えている。

市に関する情報を知る方法（複数回答）



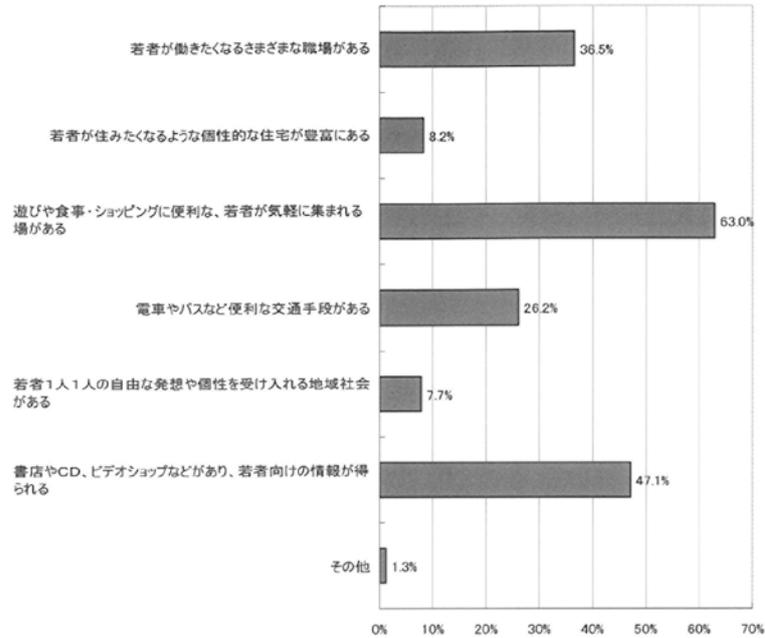
市役所が行っているまちづくりへの参加意向（単一回答）



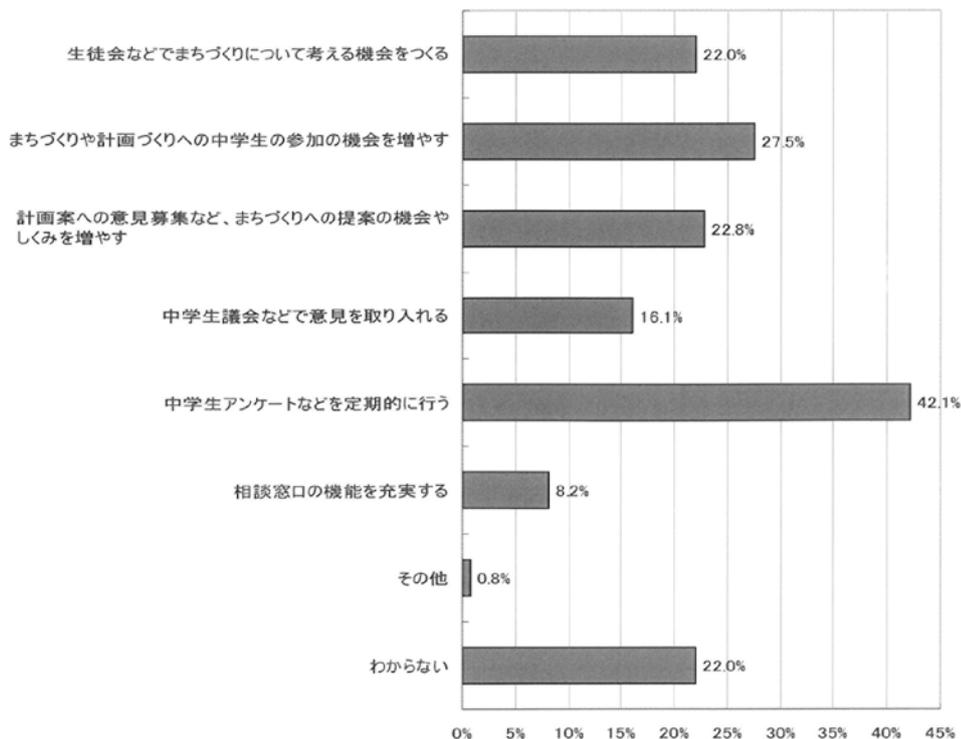
## ■若者定住に必要なもの・・・若者が気軽に集まれる場と情報

### 中学生の声を生かす方法・・・定期的なアンケート

○若い人たちが加東市に住み続けるために必要なこととして、遊びや食事、ショッピングの場、また、書店やCDショップなどの情報提供の場を求める人が多い。

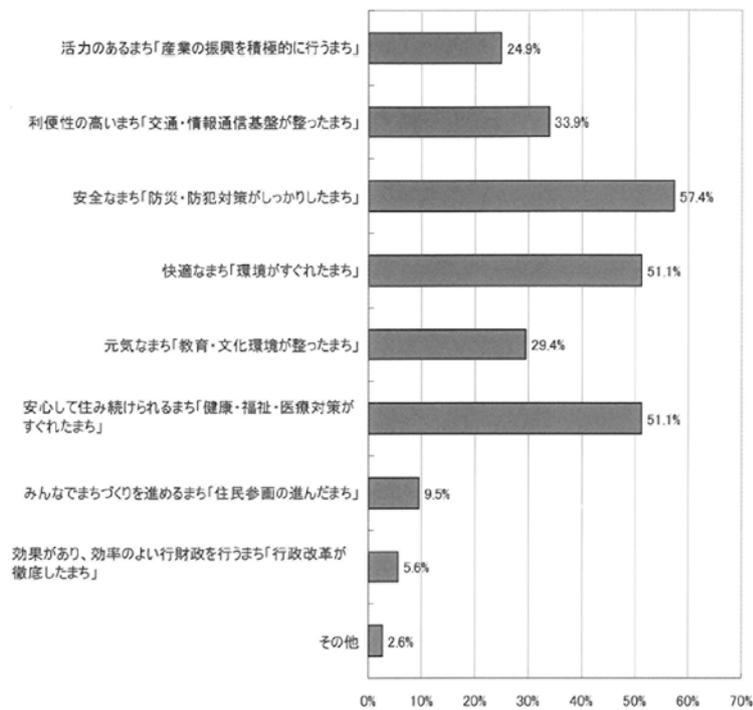


○中学生の声をまちづくりに生かす手段としては、「中学生アンケートなどを定期的に行う」が最も多くなっている。



■これからの加東市のまちづくり・・・『安全なまち』『安心なまち』『快適なまち』

○これからの加東市のまちづくりについては、安全なまち「防災・防犯対策がしっかりしたまち」が最も多く、次いで安心して住み続けられるまち「健康、福祉、医療対策がすぐれたまち」、快適なまち「環境がすぐれたまち」となっており、安全・安心で快適なまちを求める人が多い。

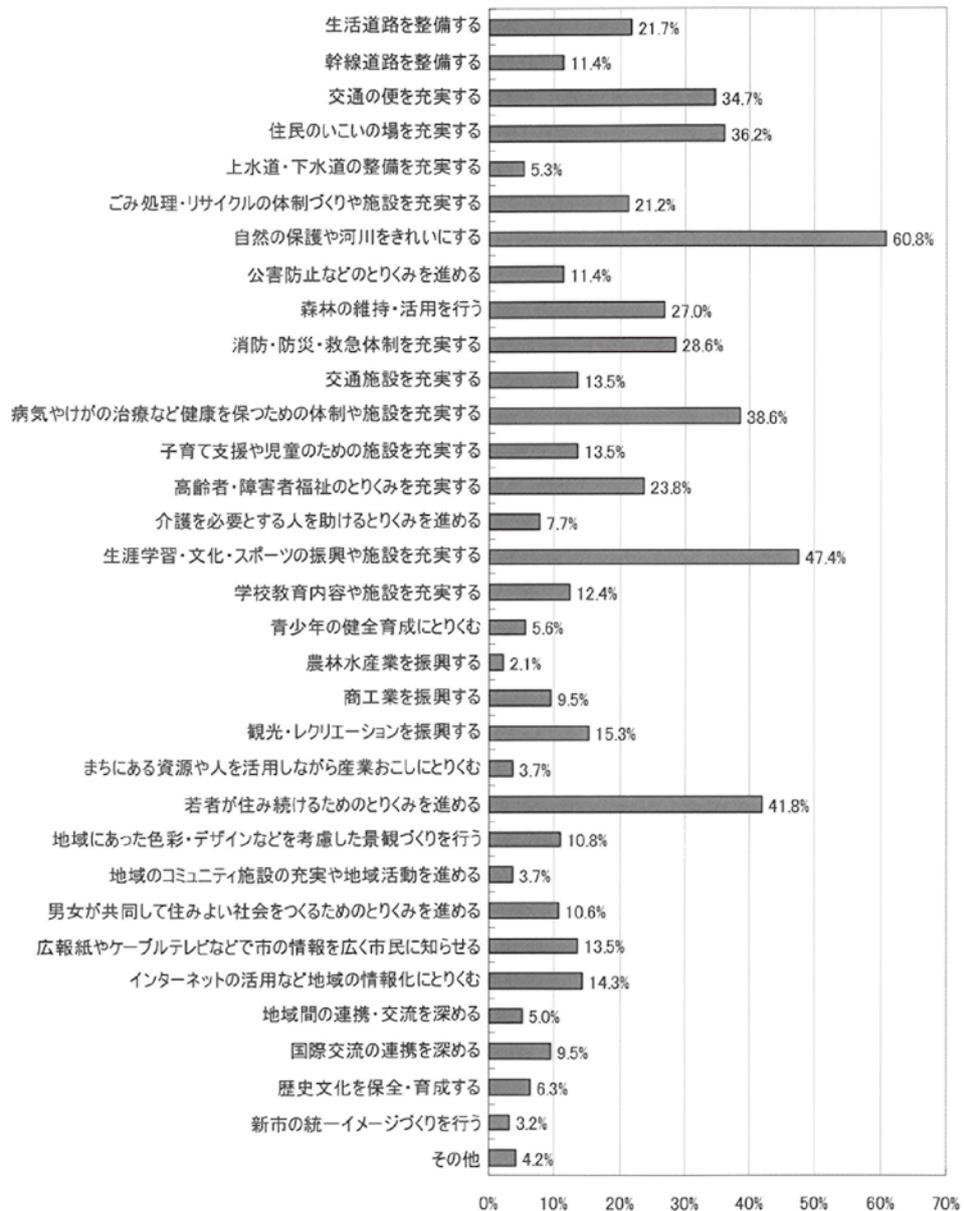


## ■加東市を暮らしやすくするための取り組み

・・・自然環境の保護、生涯学習・文化・スポーツの振興

### 若者が住み続けるための取り組み

○加東市を暮らしやすくするために大切なこととして最も多かったのは、「自然の保護や河川をきれいにする」で60.8%となっている。大切にしたい・残したい風景などで山や川などの自然をあげた人も多く、自然環境に対する意識は高い。



## 2 市民アンケートの概要

(1) 対象地域

加東市全域

(2) 調査対象

市内に在住する満 18 歳以上（平成 18 年 4 月 1 日現在）の男女

(3) 標本数

4,540 人

(4) 抽出方法

無作為抽出（地域・世代は考慮）

(5) 調査方法

郵送配布・回収による郵送調査法

(6) 回収結果

有効回答数（率） 1,930 （42.5%）

## (7) 調査結果の要旨 (主なものを抜粋)

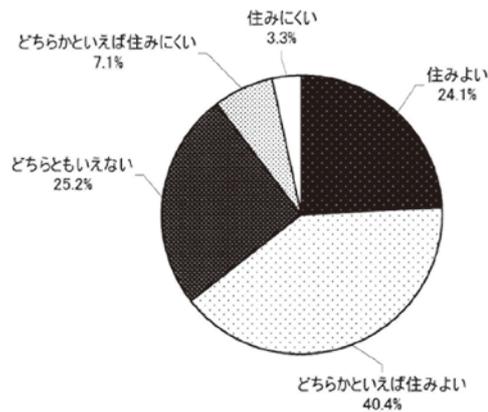
■加東市の印象など・・・**住みやすく、定住意向は高い**

○加東市の住みやすさについては、住みやすいと感じている人が多く、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせると6割を超えている。

○定住意向は高く、「住み続けたい」が4割を超えており、「今は移る気はない」とあわせると、8割を超えている。

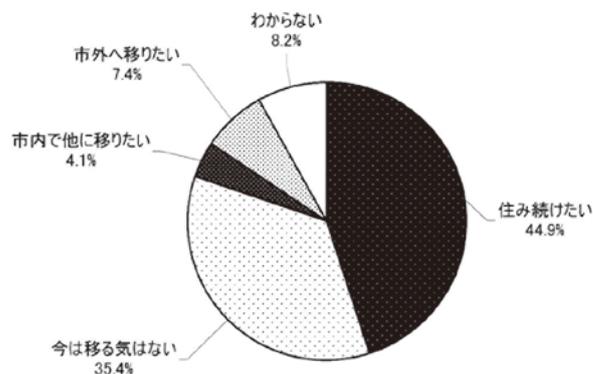
○加東市の好きなどころ、誇れるところは、「自然環境」が多くなっている。

## ・加東市の「住みよいまち」の意識

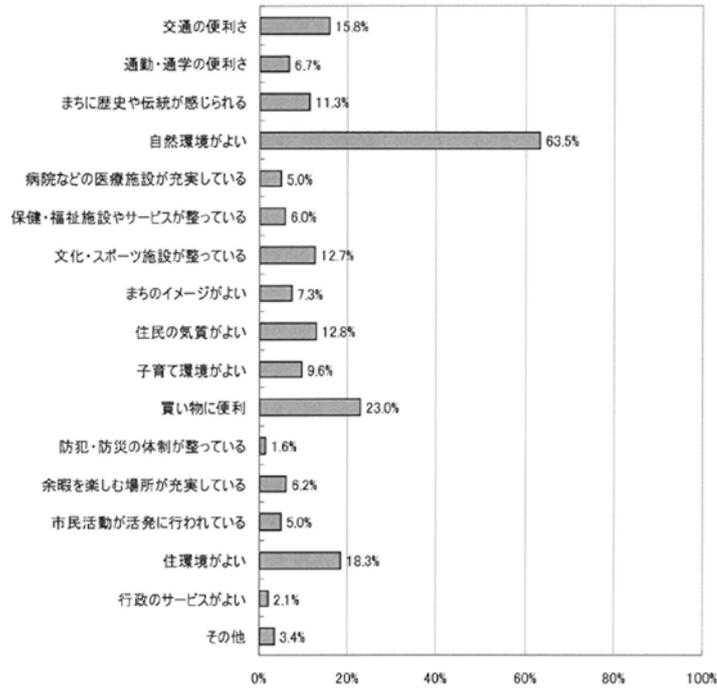


※端数処理により合計が100%ではない

## ・これからもまちに住み続けたい意向



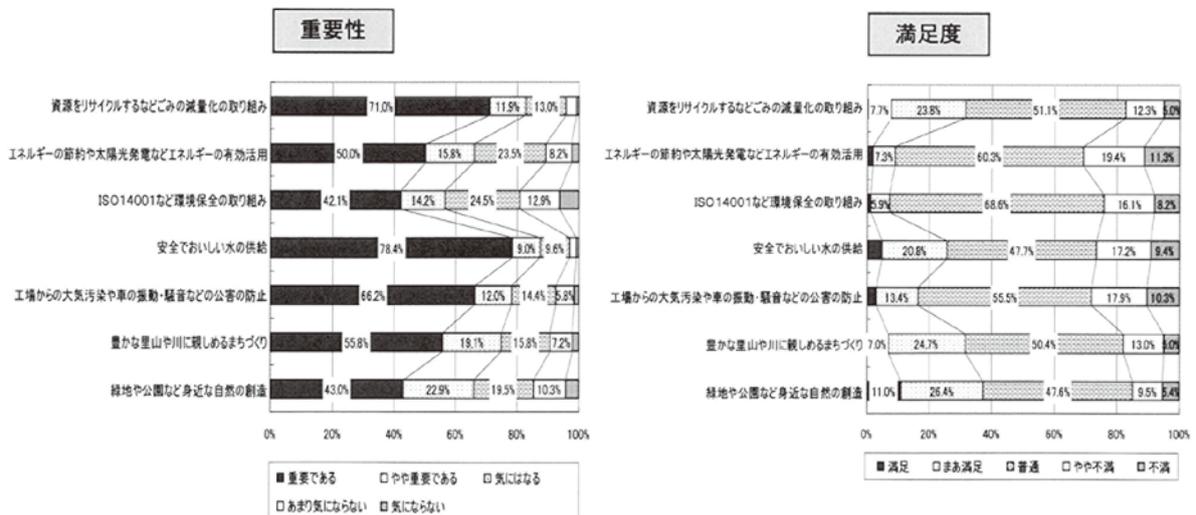
・加東市の好きなところ・誇れるところ（複数回答）



■資源や自然を守る取り組み・・・重要性を感じている人は多い

〇ごみの分別や省エネなど、資源や自然を守るための取り組みについては、意識している人が多く、これらに関連する施策について重要性を感じている人は多い。

〇資源や自然を守る取り組みに関する施策については、「安全でおいしい水の供給」をはじめとし、資源のリサイクル、公害の防止、エネルギーの有効利用、環境保全、自然の創造など各項目で重要度が高いと感じている人が多いが、現状について、「満足」と答えている人は少なく、いずれの項目でも「普通」が最も多い。

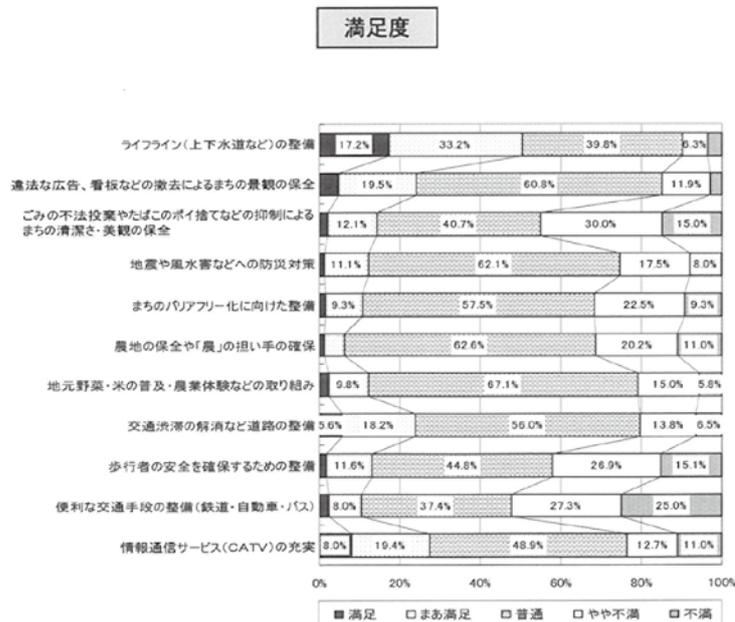
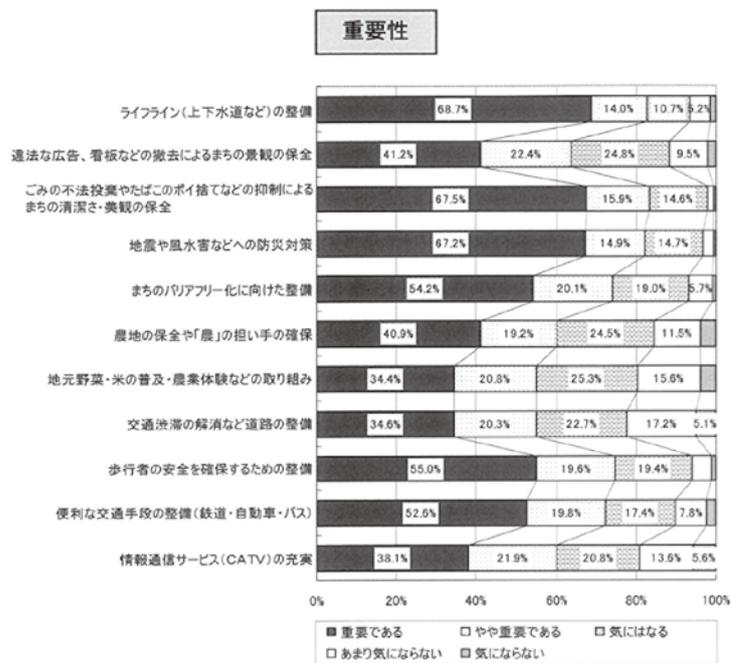


■安全・安心で快適に暮らすことのできる環境づくり

・・・**ライフラインの整備、ごみ対策、防災対策**

○施策については、「ライフライン（上下水道など）の整備」「ごみの不法投棄やたばこのポイ捨てなどの抑制によるまちの清潔さ・美観の保全」「地震や風水害などへの防災対策」の重要性が高いと感じている人が多い。

○満足度については、「ライフライン（上下水道など）の整備」がやや高いものの、いずれの項目でも「普通」が最も多くなっている。

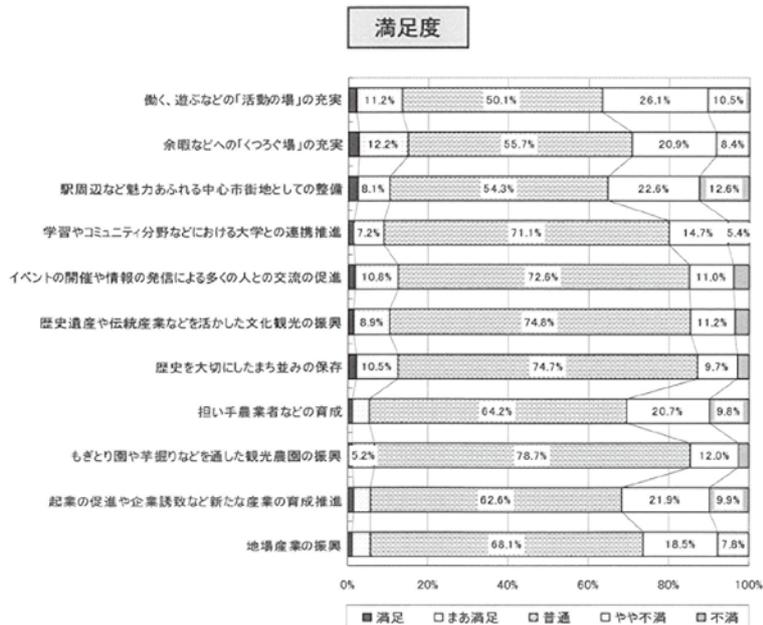
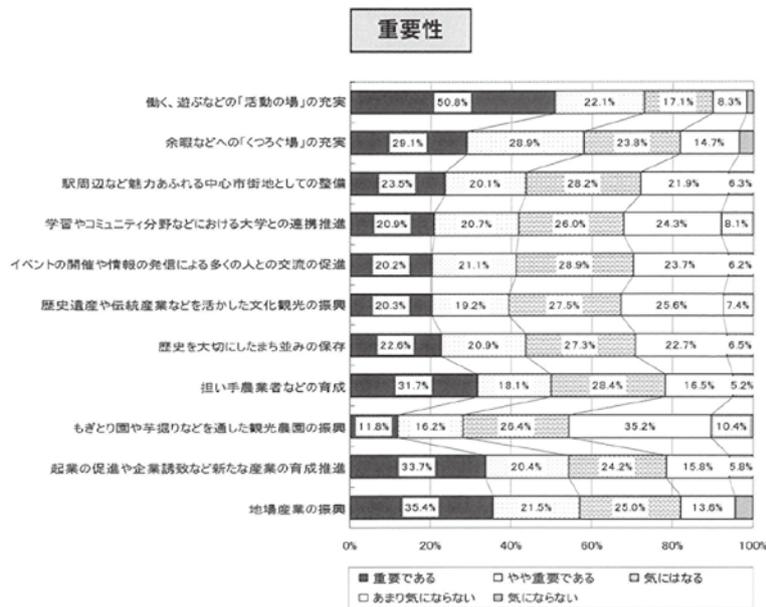


■ まちの活気・にぎわいづくり

・・・ レジャーの場の充実、新産業・地場産業の育成・振興

○まちの活気やにぎわいに関する施策の重要性では、「働く、遊ぶなどの「活動の場」の充実」「余暇などへの「くつろぐ場」の充実」といったレジャーに関することと、「起業の促進や企業誘致など新たな産業の育成推進」「地場産業の振興」「担い手農業者などの育成」といった産業に対する項目も重要性が高くなっている。

○満足度については、いずれの項目でも「普通」が最も多くなっている。

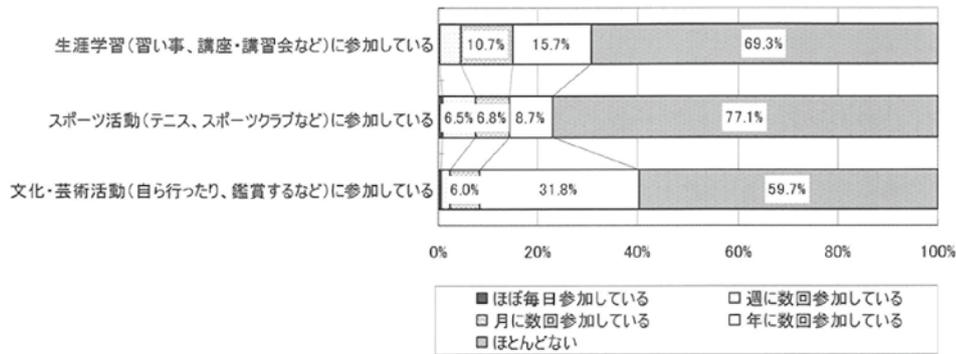


■誰もがいつまでもいきいきと暮らすことができる環境づくり

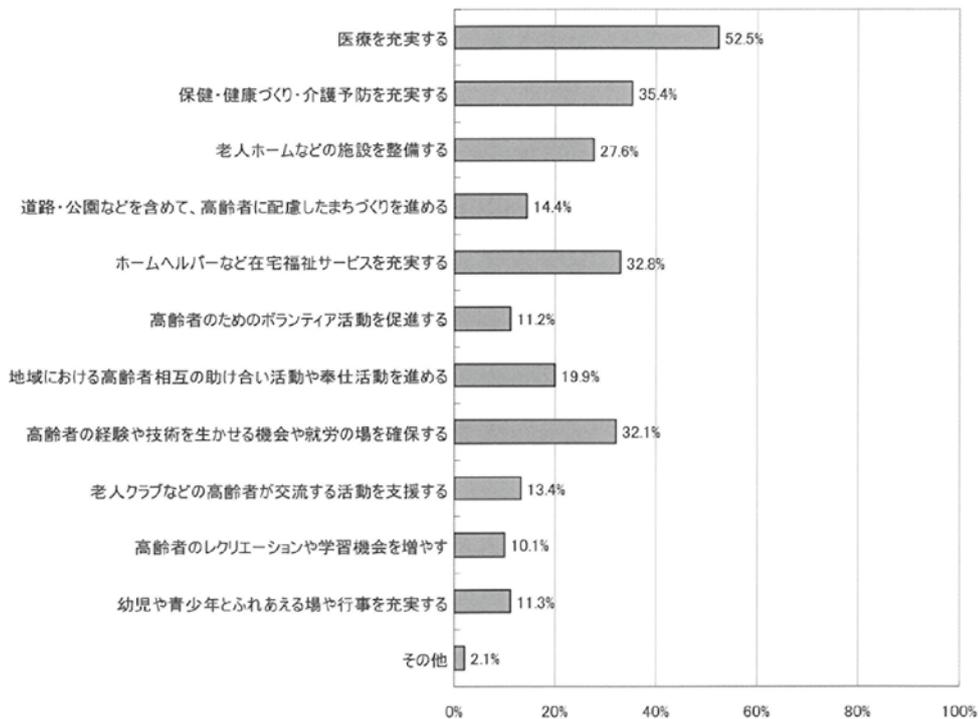
・・・医療の充実が最重要課題

- 生涯学習やスポーツ活動、文化・芸術活動などへの参加については、「ほとんどない」と答えた人が最も多いが、年齢があがるにつれて「参加している」人が多くなっている。
- 健康で充実した今後の生活（老後の生活）を送るために必要な取り組みでは、「医療を充実する」が最も高くなっている。
- 施策の重要性についても、「医療体制の整備・充実」が最も高くなっている。
- 満足度については、いずれの項目でも「普通」が最も高くなっているが、「医療体制の整備・充実」では、「不満」「やや不満」をあわせると半数を超えている。

・あなたの日頃の行動や活動

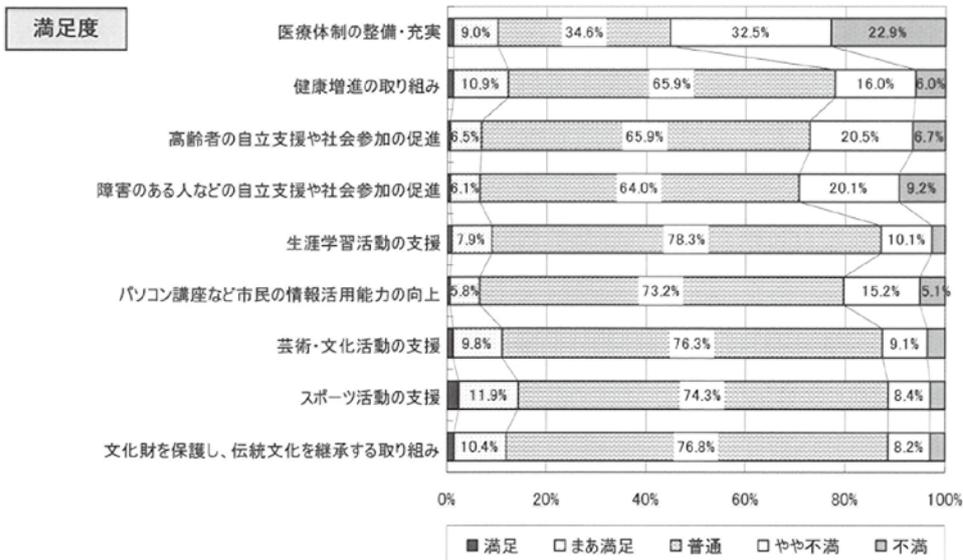
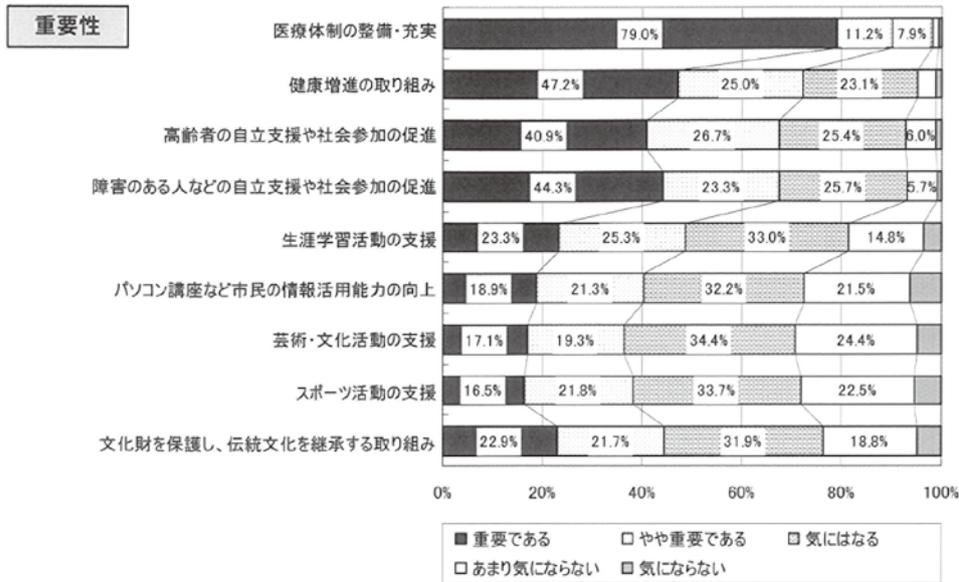


・健康で充実した今後の生活（老後の生活）を送るための必要な取り組み（複数回答）



## II アンケート調査

・現在、加東市が取り組んでいる施策または取り組もうとしている施策の重要性と現状についての満足度



## ■次代を担う子どもをとりまく環境づくり

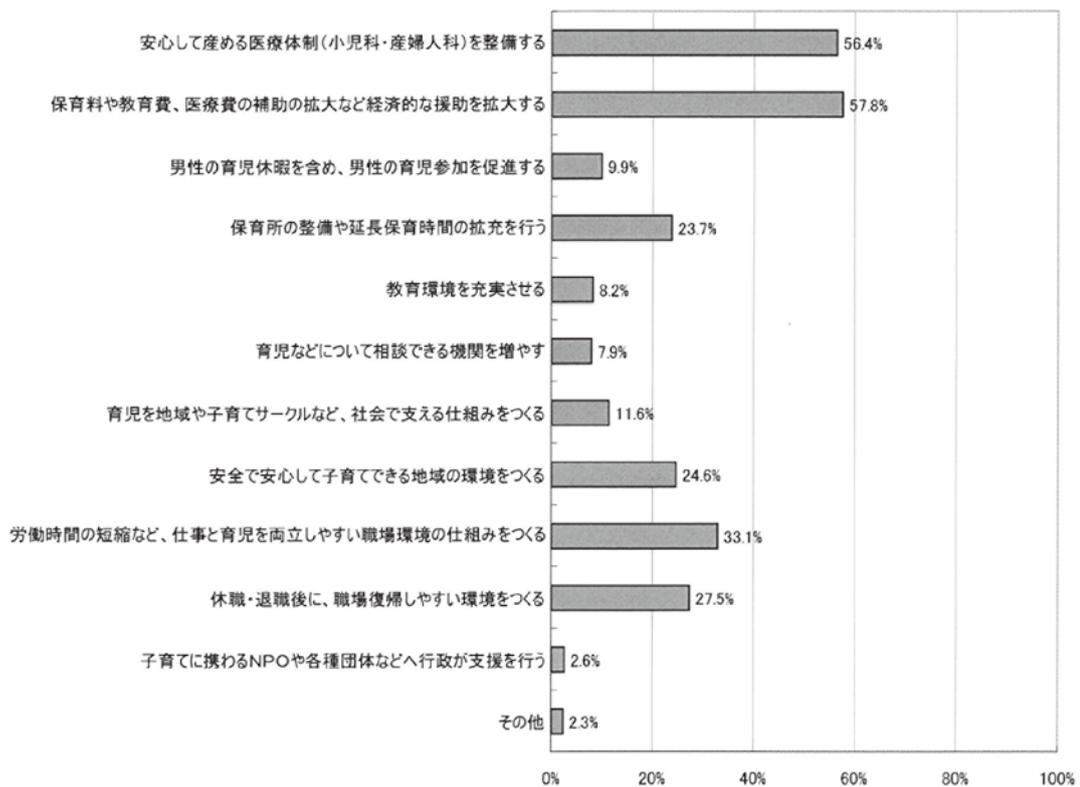
### ・・・子育てに対する経済的援助、医療体制の整備、保育所・地域での子育て支援

○子どもを生み、育てやすい社会にするために必要なことでは、「保育料や教育費、医療費の補助の拡大など経済的な援助を拡大する」といった経済的な面と、「安心して産める医療体制(小児科・産婦人科)を整備する」といった医療面が高くなっている。

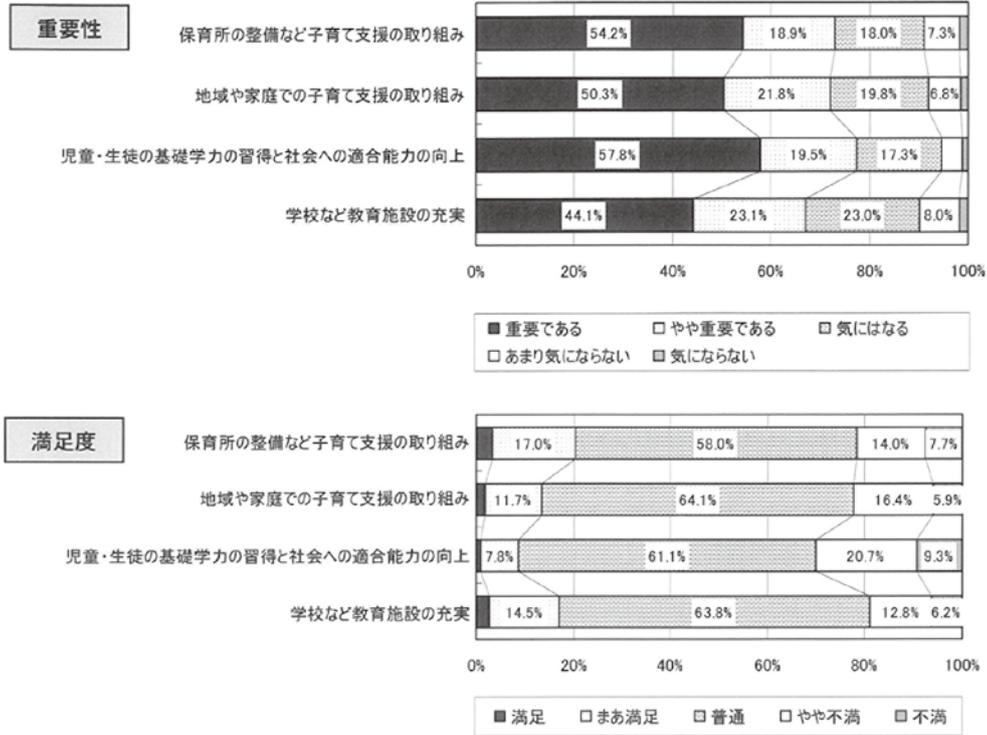
○施策の重要性については、保育所や地域での子育て支援の取り組み、学校教育などの各項目について重要性が高いと感じている人が多い。

○満足度については、いずれの項目でも「普通」が最も高くなっており、満足よりも不満の方がやや上回っている。

### ・子どもを生み、育てやすい社会にするために必要なこと(複数回答)



・現在、加東市が取り組んでいる施策または取り組もうとしている施策の重要性と現状についての満足度



■市民と行政の協働事業・・・医療、福祉、子育て支援、地域の安全・安心

○今後、市民と行政の協働事業として力を入れるべきと考えているのは、医療、福祉、子育て支援、地域の安全・安心の分野となっている。

・今後、市民と行政の協働事業として取り組みを強めるべき分野（複数回答）

